

# 山行報告書

計画書整理 No.

期 間:平成 23年5月1日(日) ~ 5月2日(月)

種 別:合宿 個人

山 域:御坂山塊



参 加 者:浦野 一夫 鈴木 輝明

コースタイム:5月1日(小雨)笹子駅18:30・・・東電発電所付近幕営19:50就寝11:05

5月2日起床3:30、出発5:00・・・清八峠6:40・・・本社ガ丸7:05・・・鶴ガ鳥山9:05・・・林道9:45・・・県道11:30・・・初狩駅12:25

文 浦野 一夫

第一日目 5月1日(日) 小雨～曇り

中央線八王子辺りで小雨になる。無人の笹子駅に着き、雨が上がりそうにもないので歩きだす。東電の発電所を過ぎたあたりで天幕を張る。

第二日目 5月2日(月) 晴

清八峠まで、けっこうな登りで一汗かく。あとは大した高低はあまりなく角研山(かどぎやま) 1377mに着く。「鶴が鳥屋山」までゆるい傾斜のあるところは、先々



週の東丹沢トレイルでコース案内を輝ちゃんとやって選手の走りを目のあたりで見っていたので、それに刺激された訳でもないが二人で走ってみる。

時間も30分位短縮したようで、鶴が鳥屋山に着く。後ろから来た単独行者に追い抜かれる。彼もゼイゼイ荒い呼吸をしながら走っているようだ。高川山を越えて大月駅まで12時間かかるので急いでいたのだろう。

我々も地図も出さずハッキリした踏み跡のほうに下って行った。<これが間違いだった>。尾根を下って行くと道を遮るようにロープが張っており、それに沿って行くと舗装道路出る。そのまま行くと左側に分断された尾根に取り付く登山道があり、それを行き尾根状に出る。そこから下りとなる。

さっき走ったためか、腰に力が入らず、ちょっとした段差の所で尻もちをつくような不安定な状態となる。枯木を杖がわりにして、ゆっくり下る。輝ちゃんは登りが不安定だと言っていた。

どうやら高川山ルートでない事がはっきりしたが、大月までは長丁場は無理と判断して、そのまま下ることにする。林道に出ると、ほっとする。そのうち県道に出てアスファルト道路になり駅までゆるい下り道では腰の不安定はなくなっていた。

八重桜の咲いている旧道を田んぼの蛙の卵「お玉じゃくし」を探しながらリニアモーターのガード下を通り初狩駅へ着く。

感想…

山岳トレイルレースのトレーニングもどきは別のときにやり、もっと山を楽しみ雰囲気を感じるような山行をすればいいな～。

山としては人には会わず僕が走れる位のプロムナードコースだった。富士山も中央高速道路もよく見えた。歳を取ると、セッカチ気味になるのかな～時間を結構気にしていて結局この体たらくとなりました。 反省の余地有！！